

千葉市少年自然の家（仮称）整備事業に関する審査及び結果について

本市は、千葉市少年自然の家（仮称）整備事業について、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に則り進めております。このたび「千葉市PFI事業審査委員会」（委員長 宮脇淳 北海道大学大学院法学研究科教授）の審査を経て、次のとおり落札者を決定いたしましたのでお知らせします。

- 1 落札者（最優秀提案） **伊藤忠商事グループ**
代表企業 伊藤忠商事株式会社

（選定理由）

本事業に対する「入札価格」及び「価格以外の提案」を総合的に評価した結果（総合評価一般競争入札方式）最も順位の高い上記業者を選定した。

今回提案を受けた8グループのいずれも特色ある優れた内容の提案であったが、その中でも伊藤忠商事グループは、事業費削減だけでなく、千葉市少年自然の家（仮称）が提供する教育サービスの質的な向上が図られるものとして評価できるものであった。

2 落札者決定までの経緯

「千葉市PFI導入指針」に沿って、3月29日に実施方針を公表した後、4月19日に特定事業として選定した。その後、5月10日には入札公告し、説明会等を実施した。

入札及び提案書の提出は8月27日に行われ、8グループからの提出があった。このたびの落札者決定は学識経験者等で構成する「千葉市PFI審査委員会」の審査により選定された最優秀提案をもとに、市が落札者を決定したものである。

3 落札金額 11,735,467,000円（消費税及び地方消費税を除く）

千葉市少年自然の家（仮称）PFI事業の事業方式は、市が施設を所有するBTO方式とし、事業分類はサービス購入型とする。

事業期間は、工事期間は平成14年度末から平成16年度末、施設の維持管理や事業運営を行う運営期間は平成17年度から平成31年度までの15年間である。

なお、入札価格は、建設から15年間の運営経費を含む額である。（市が想定した事業契約金額の総額は、14,087百万円であり、入札予定価格の目安となるものである。）

市の事業者への支払方法は、建設工事費や運営費を15年間の事業期間にわたって、平準化して支払うものとする。

4 審査結果（別紙）

5 PFI事業審査委員長講評（別紙）